

## 令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年7月7日（木）現在

### 【 果 樹 】

<モモ>

山梨県産が小玉傾向のため、大玉中心に不足感がある。  
相場は、今後を見据え保合となる見通し。

はつひめ 特秀 20玉 3,000円 青秀（秀） 2,800円

4P パック L特秀 420円 M特秀 400円

玉流れ 22玉（43%）>25玉（27%）>20玉（17%）

特秀率 75% 青秀（秀） 25%

### 【 野 菜 】

<きゅうり>

猛暑が続いたことで関東産の切り上がりが進み急減となり、今までの売り込みによって末端の注文は多く不足感から相場を強めた。

不足感の残る展開だが、福島県産は増量傾向であり、露地作の出揃いに向けて末端の荷動きを止めないために相場は保合となる見通し。

@A 1,700 ~ 1,500円

<ミニトマト>

関東産の残量と福島県産、岩手県産を始めとする東北産の増量で入荷量が多いが、今後関東産の減少を見込むため相場は保合の見通し。

@AM 170 ~ 140円

JAふくしま未来  
営農部園芸課